



平成19年2月8日

航海訓練所練習船「青雲丸」 神戸港でテロ対策合同訓練に初参加

航海訓練所練習船「青雲丸」は、神戸港入港期間中の平成19年2月15日(木)本船を外航客船に見立てた神戸港テロ対策合同訓練に参加。この種の合同訓練への当所練習船の参加は、全国初。

航海訓練所は、初めて、神戸市、神戸海上保安部などで構成する神戸港保安委員会等が実施するテロ対策合同訓練に参加します。当所からは、練習船「青雲丸」を同訓練の実施場所のひとつとして提供し、乗船している乗組員・実習生も同訓練に参加します。

当所では、日頃から船内火災、テロ等を想定した緊急対応訓練を行っており、実習生に対する航海訓練でも重要な項目のひとつです。当所としては、今回の合同訓練への参加を活かし、さらなる国内外の海上運送の安全と安定への貢献のため、職員・乗組員はもとより将来の我が国海運産業を担う実習生に対する安全や緊急対応に関する訓練充実に努めていきます。

なお、同訓練の詳細については、別紙の神戸港保安委員会・神戸港保安対策協議会(事務局：神戸市みなと総局経営課)公表資料を参照願います。



(参考)

練習船「青雲丸」(せいうんまる)
総トン数:5,890トン
全長:116.00m
船長:大藤 高広
(おおふじ たかひろ)
実習生:大学4年 54名
商船高専 77名
ODA 38名
計 169名

【配布先】神奈川県政記者クラブ、国土交通省交通運輸記者会

なお、神戸現地では、神戸港保安委員会・神戸港保安対策協議会から、別紙資料を神戸市政記者クラブ、兵庫県警察本部記者クラブ、神戸海運記者クラブ、神戸市民放記者クラブ、兵庫県警察本部民放記者クラブに対して配布します。

問い合わせ先
この広報資料について

独立行政法人 航海訓練所 事務局総務課
担当：藤本 電話：045-211-7303

神戸港テロ対応合同訓練について 神戸港保安委員会・神戸港保安対策協議会(事務局：神戸市みなと総局経営課)
担当：横山、五十嵐 電話：078-322-5659

報道資料（平成 19 年 2 月 8 日）

神戸港保安委員会・神戸港保安対策協議会（事務局：神戸市みなと総局経営課）

TEL：078-322-5659

神戸港テロ対策合同訓練の実施（2月15日）について

目的

国際港湾である神戸港における保安の向上を目的として、毎年度「神戸港保安委員会」及び「神戸港保安対策協議会」の主催による神戸港テロ対策合同訓練を実施しています。

今回の訓練では、航海訓練所「青雲丸」を外航客船に見立て、同船に対するテロを想定した実動訓練を実施しますので、お知らせいたします。

日時

平成 19 年 2 月 15 日（木） 13 時 30 分～16 時 30 分（予定）

場所

神戸港新港第 4 突堤 Q 1 Q 2 岸壁及び前面海域、神戸ポートターミナル
独立行政法人航海訓練所「青雲丸」

実動訓練の参加機関

神戸海上保安部、兵庫県警察本部、同機動隊、神戸水上警察署、神戸税関、
大阪入国管理局神戸支局、近畿地方整備局、神戸運輸監理部、
神戸市危機管理室、神戸市消防局、同水上消防署、神戸市みなと総局
独立行政法人航海訓練所（特別参加）
神戸港国際旅客ターミナル運営共同事業体（特別参加）

訓練内容

- (1) 爆破予告の関係者への通報、情報の共有、現場における活動調整
- (2) 爆発による負傷者の救助、船内火災の消火（青雲丸・岸壁）
- (3) 警戒態勢の中、旅客・乗組員の避難誘導（青雲丸・ターミナル）
- (4) 警戒態勢の中、入国審査及び旅具検査（C I Q）
- (5) 逃走したテロリストの捕捉（C I Q・岸壁）
- (6) 爆発物の捜索、処理（C I Q・岸壁）

実動訓練の参加人員など

約 400 名（航海訓練所 207 名（ODA 実習生 38 名など）を含む）、車両 22 台、
練習船 1 隻、船艇 7 艇